

中小建設業における安全教育の実態調査

－ 教育の頻度と内容 －

独立行政法人労働安全衛生総合研究所 正会員 高木元也

1 はじめに

中小規模事業場の労働災害が多発している。全産業における年間の休業 4 日以上死傷災害（以下、死傷災害という）をみると、労働者数 50 人未満の中小規模事業場で全体の 3 分の 2 近くを占めている。また、労働者数 1～9 人規模の事業場の死傷災害年千人率は、300 人以上の規模の事業場の約 1.5 倍にも及んでいる。

建設業においても、建設業許可業者約 47 万業者（平成 26 年 3 月末）のうち 9 割近くは中小建設業者が占め、中小建設業者の安全確保は重要な課題である。

ただ、中小建設業者の多くは、人材面や資金面等に余裕がなく、大手建設業者と比べ安全活動の推進力の向上が課題である。また、建設業許可業者約 47 万社の約 9 割を占める中小建設業者に対し、建設業の年間の死傷災害は 17,189 人（平成 25 年、労働者死傷病報告）であり、単純換算すれば 25 社に 1 社しか死傷災害が発生していないことになるなど、毎年、中小建設業者の多くは死傷災害は発生していない。このため、たとえ死傷災害が発生しても、それを「たまたま発生した」などと偶発的にとらえがちで、再発防止意識が高まらないのが現状である。

このような背景の下、建設業は死傷災害の約 2 割、死亡災害の約 3 分の 1 を占め、他産業に比べ労働災害が多発する危険な産業といわれてしまう。建設業の労働災害防止には、中小建設業者対策が最重要課題の一つである。

本稿では、建設現場の安全確保のため、これまでの調査で中小建設業者のニーズが高かった安全教

育を取り上げ、全国的に組織化された活動を行っている全国管工事業協同組合連合会の協力の下、そこで開催されている安全講習会の受講者を対象にアンケート調査を行い、安全教育の実態調査を行った。

2 アンケート調査の概要

アンケート調査の概要は以下のとおりである。

(1)調査対象

全国管工事業協同組合連合会会員の 7 協同組合（秋田、群馬、富山、静岡、愛媛、佐賀、沖縄）で開催された安全講習会の受講者計 577 名

(2)調査時期

平成 26 年 8 月～平成 26 年 11 月

(3)調査概要

所属企業、建設現場等における安全教育の実態

3 アンケート調査結果

安全教育をどの程度の頻度で受講しているか、また、その安全教育の内容はどのようなものかなどについて質問した。回答結果を年齢別、所属会社区分別、従業員規模別に示す。

(1)安全教育の受講頻度（表-1 合計）

全体では、「月 1 回以上」が 35.7%を占め最も多かった。

a. 年齢別（表-1）

年齢階層別にみると、20 歳代以下は「月 1 回以上」が 48.8%を占め、他の年齢階層と比べ多かった。

表-1 安全教育の受講頻度（年齢別）

	1.月1回以上		2.およそ2ヶ月に1回程度		3.およそ3ヶ月に1回程度		4.およそ半年に1回程度		5.およそ1年に1回程度		6.これまでほとんど安全教育を受けたことがない		7.無効回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～20歳代	21	48.8%	3	7.0%	5	11.6%	3	7.0%	9	20.9%	1	2.3%	1	2.3%	43	100.0%
2.30歳代	36	35.3%	7	6.9%	9	8.8%	22	21.6%	15	14.7%	9	8.8%	4	3.9%	102	100.0%
3.40歳代	47	37.9%	11	8.9%	9	7.3%	21	16.9%	26	21.0%	8	6.5%	2	1.6%	124	100.0%
4.50歳代	45	38.8%	7	6.0%	6	5.2%	24	20.7%	24	20.7%	8	6.9%	2	1.7%	116	100.0%
5.60歳以上	36	33.0%	11	10.1%	10	9.2%	17	15.6%	24	22.0%	4	3.7%	7	6.4%	109	100.0%
6.無効回答	14	22.2%	7	11.1%	9	14.3%	18	28.6%	8	12.7%	3	4.8%	4	6.3%	63	100.0%
合計	199	35.7%	46	8.3%	48	8.6%	105	18.9%	106	19.0%	33	5.9%	20	3.6%	557	100.0%

b. 所属会社区別 (表-2)

所属会社区別では、いずれも「月 1 回以上」が 30 数%を占め最も多かった。他方、「これまでほとんど安全教育を受けたことがない」は、元請業者が 4.2%にとどまっているのに対し、1 次請負業者、2 次請負業者、一人親方はいずれも 9%を超え多かった。

c. 従業員規模別 (表-3)

従業員規模別にみると、従業員 5 人以下の建設業者に所属している者は「月 1 回以上」が 14.2%と少なく、逆に「これまでほとんど安全教育を受けたことがない」が 14.2%と際立って多かった。

(2)安全教育の内容 (表-4 合計)

安全教育の内容は 9 の選択肢で質問してみたが、最も多かったのが「事故防止対策」19.4%、次いで「現場の危険、作業の危険」16.1%、「正しい作業手順」13.7%、「ヒヤリハット事例の教育」13.4%であった。

a. 年齢階層別 (表-4)

年齢階層別に違いはあまり見受けられなかった。「正しい作業手順」、「工具・道具の安全な使い方」など、若者向け内容と思われるがちなものも、各年齢階層で 10 ～15%を占めた。

b. 所属会社区別 (表-5)

一人親方は、「工具・道具の安全な使い方」が 16.7%と多いのが特徴的である。似たような傾向は 2 次以下の請負業者にも見受けられた。

4 おわりに

本稿は安全教育の頻度と内容について、年齢別、所属会社区別等にみてきたが、今後は、その他の質問も含め詳細な分析および結果の考察を行い、中小建設業者の安全教育上の課題を明らかにし、対応策を検討していきたい。

表-2 安全教育の受講頻度 (所属会社区別)

	1.月1回以上		2.およそ2ヶ月に1回程度		3.およそ3ヶ月に1回程度		4.およそ半年に1回程度		5.およそ1年に1回程度		6.これまでほとんど安全教育を受けたことがない		7.無効回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.主に元請業者	115	34.4%	29	8.7%	31	9.3%	71	21.3%	67	20.1%	14	4.2%	7	2.1%	334	100.0%
2.主に1次請負業者	10	38.5%	3	11.5%	2	7.7%	6	23.1%	2	7.7%	3	11.5%	0	0.0%	26	100.0%
3.主に2次以下の請負業者	55	38.2%	8	5.6%	11	7.6%	22	15.3%	27	18.8%	13	9.0%	8	5.6%	144	100.0%
4.一人親方	13	39.4%	3	9.1%	2	6.1%	2	6.1%	7	21.2%	3	9.1%	3	9.1%	33	100.0%
5.無効回答	6	30.0%	3	15.0%	2	10.0%	4	20.0%	3	15.0%	0	0.0%	2	10.0%	20	100.0%
合計	199	35.7%	46	8.3%	48	8.6%	105	18.9%	106	19.0%	33	5.9%	20	3.6%	557	100.0%

表-3 安全教育の受講頻度 (従業員規模別)

	1.月1回以上		2.およそ2ヶ月に1回程度		3.およそ3ヶ月に1回程度		4.およそ半年に1回程度		5.およそ1年に1回程度		6.これまでほとんど安全教育を受けたことがない		7.無効回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.5人以下	18	14.2%	11	8.7%	11	8.7%	30	23.6%	38	29.9%	18	14.2%	1	0.8%	127	100.0%
2.6～10人	30	22.6%	15	11.3%	14	10.5%	31	23.3%	34	25.6%	6	4.5%	3	2.3%	133	100.0%
3.11～30人	82	50.9%	12	7.5%	11	6.8%	24	14.9%	20	12.4%	4	2.5%	8	5.0%	161	100.0%
4.31～50人	36	55.4%	2	3.1%	4	6.2%	12	18.5%	5	7.7%	1	1.5%	5	7.7%	65	100.0%
5.51～100人	17	58.6%	3	10.3%	3	10.3%	2	6.9%	3	10.3%	0	0.0%	1	3.4%	29	100.0%
6.10～300人	5	62.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	8	100.0%
7.300人以上	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%
8.無効回答	10	32.3%	3	9.7%	4	12.9%	4	12.9%	5	16.1%	4	12.9%	1	3.2%	31	100.0%
合計	199	35.7%	46	8.3%	48	8.6%	105	18.9%	106	19.0%	33	5.9%	20	3.6%	557	100.0%

表-4 安全教育の内容 (年齢別)

	1.正しい作業手順		2.工具・道具の安全な使い方		3.作業者同士のコミュニケーションの取り方		4.現場の危険、作業の危険		5.事故防止対策		6.不安全行動の防止(ルール遵守)		7.危険感受性を高める教育		8.ヒヤリハット事例の教育		9.実際の災害事例の教育		10.その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.～20歳代	25	13.6%	14	7.6%	11	6.0%	30	16.3%	37	20.1%	18	9.8%	10	5.4%	20	10.9%	18	9.8%	1	0.5%	184	100.0%
2.30歳代	48	14.0%	29	8.5%	14	4.1%	59	17.3%	66	19.3%	36	10.5%	9	2.6%	46	13.5%	34	9.9%	1	0.3%	342	100.0%
3.40歳代	56	13.9%	26	6.5%	15	3.7%	68	16.9%	86	21.4%	32	8.0%	8	2.0%	60	14.9%	51	12.7%	0	0.0%	402	100.0%
4.50歳代	49	11.3%	41	9.5%	23	5.3%	66	15.2%	77	17.8%	39	9.0%	19	4.2%	62	14.3%	55	12.7%	3	0.7%	433	100.0%
5.60歳以上	59	14.6%	52	12.8%	32	7.9%	65	16.0%	76	18.8%	34	8.4%	16	4.0%	44	10.9%	25	6.2%	2	0.5%	405	100.0%
6.無効回答	33	16.3%	18	8.9%	10	5.0%	28	13.9%	40	19.8%	15	7.4%	10	5.0%	32	15.8%	16	7.9%	0	0.0%	202	100.0%
合計	270	13.7%	180	9.1%	105	5.3%	316	16.1%	382	19.4%	174	8.8%	71	3.6%	264	13.4%	199	10.1%	7	0.4%	1,968	100.0%

表-5 安全教育の内容 (所属会社区別)

	1.正しい作業手順		2.工具・道具の安全な使い方		3.作業者同士のコミュニケーションの取り方		4.現場の危険、作業の危険		5.事故防止対策		6.不安全行動の防止(ルール遵守)		7.危険感受性を高める教育		8.ヒヤリハット事例の教育		9.実際の災害事例の教育		10.その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.主に元請業者	174	13.4%	125	9.7%	73	5.6%	210	16.2%	246	19.0%	105	8.1%	46	3.6%	178	13.7%	132	10.2%	6	0.5%	1,295	100.0%
2.主に1次請負業者	59	13.0%	29	6.4%	15	3.3%	79	17.4%	96	21.1%	52	11.5%	14	3.1%	60	13.2%	50	11.0%	0	0.0%	454	100.0%
3.主に2次以下の請負業者	3	8.1%	5	13.5%	3	8.1%	5	13.5%	7	18.9%	4	10.8%	1	2.7%	5	13.5%	4	10.8%	0	0.0%	37	100.0%
4.一人親方	1	5.6%	3	16.7%	1	5.6%	3	16.7%	3	16.7%	0	0.0%	1	5.6%	3	16.7%	2	11.1%	1	5.6%	18	100.0%
5.無効回答	33	20.1%	18	11.0%	13	7.9%	19	11.6%	30	18.3%	13	7.9%	9	5.5%	18	11.0%	11	6.7%	0	0.0%	164	100.0%
合計	270	13.7%	180	9.1%	105	5.3%	316	16.1%	382	19.4%	174	8.8%	71	3.6%	264	13.4%	199	10.1%	7	0.4%	1,968	100.0%